

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA 太宰府校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 12月 28日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人ひとりの特性や成長に寄り添い、個別に応じたきめ細やかなサポートを行っています。	一律の支援ではなく、それぞれのニーズに合わせた柔軟で質の高い支援を提供しています。事業所の支援が画一的ではなく、子ども一人ひとりに適した支援教具、環境に工夫をしています。	定期的なアセスメントを実施し、お子さまの成長や変化に応じた支援計画を柔軟に見直していきます。また、言語・運動・情緒面など多角的な視点からサポートを行うことで、より質の高い個別支援を提供できるよう努めます。加えて、保護者様とのコミュニケーションを深める機会を増やし、ご家庭と連携した支援体制を強化することで、お子さまの成長をより一層支えています。
2	保護者の皆さまが安心して子育てができるよう、定期的な相談の機会を設け、不安や悩みに寄り添った支援を大切にしています。	単発の対応ではなく、継続的なサポート体制が整っています。単なる情報提供にとどめず、保護者様の気持ちに共感しながら支援を行っています。	相談の機会を増やし、保護者の皆さまが気軽に悩みを共有できる環境づくりを進めます。又、個別相談だけでなく、保護者同士が交流できる座談会や情報共有の場を設けることで、共感や支え合いの輪を広げ、安心して子育てができる環境づくりを強化していきます。
3	食育の充実や運動の習慣を通じて、お子さまが成功体験を積み重ね、自信や自己肯定感を高められるよう努めています。	支援の方向性が明確しお子さまが小さな達成感を重ねながら成長していく中で、単なる活動の提供ではなく、子どもの内面的な成長を大切にしています。	食育では、季節の食材を使った調理体験や栄養について学ぶ機会を増やし、楽しみながら食への関心を深められるよう工夫します。また、運動面では、個々の成長段階に応じたプログラムを取り入れ、成功体験を積み重ねやすい環境を整えるとともに、達成感を味わえる機会を増やしていきます。食習慣や運動習慣の定着をサポートすることで、より継続的な自己肯定感の向上につなげていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族向けの研修会、情報提供の機会が十分に整っていないことが課題として挙げられます。保護者の皆さまが子育ての悩みや困りごとを共有し、学び合う機会が少ないため、適切な支援や情報提供の充実が求められています。また、ペアレント・トレーニングなどの専門的な支援プログラムの導入や、保護者同士の交流の場を設けることも、今後の改善点として検討していく必要があります。	保護者の方々のスケジュールに合わせた柔軟な開催が難しく、参加しやすい環境づくりが十分に整っていないことも課題の一因です。	保護者の皆さまが参加しやすい時間帯や形式(対面・オンライン)で研修会や情報提供の機会を定期的に設けることが重要です。保護者同士が気軽に交流し、悩みや情報を共有できる座談会や交流イベントを企画することで、支え合える関係づくりを促進します。加えて、外部の専門家や地域の支援機関と連携し、最新の支援情報や専門的なアドバイスを提供できる体制を強化することで、より充実したサポートを実現していきます。

2	<p>防災訓練の実施は行われているものの、保護者の皆様への周知が十分ではなく、参加や協力を得る機会が限られていることが課題として挙げられます。また、訓練の内容や実施スケジュールが分かりにくく、参加しやすい環境が整っていないことも改善が求められる点です。さらに、防災に関する意識を高めるための情報発信が不足しており、日常的な防災意識の向上や緊急時の対応力の強化が課題となっています。</p>	<p>防災訓練の実施計画や周知方法が十分に整理されておらず、保護者の皆様へ効果的に情報を届ける手段が確立されていないことが挙げられます。さらに、防災に関する意識を日常的に高める取り組みが不足しており、定期的な情報提供や訓練の目的を共有する機会が少ないことも、課題の一因となっています。</p>	<p>防災訓練の目的、内容、実施スケジュールをSNS、配布物など複数の媒体を活用して分かりやすく事前に案内することで、保護者の皆さまへの周知を徹底し、参加や協力を促進する体制を整えます。</p>
3	<p>ご兄弟向けのイベントや交流機会の提供が十分でなく、障がいのあるお子様をもつご家族の中で、兄弟児の気持ちや関わりを大切にす支援が不足していることが課題です。</p>	<p>事業所として、障がいのあるお子様への支援を中心に行っているため、兄弟児の気持ちや関わりへの配慮が後回しになりがちであることが要因の一つです。</p>	<p>兄弟児が安心して参加できるイベントや交流機会を定期的に企画し、同じ立場の子ども同士が気持ちを共有できる環境を整えます。また、レクリエーション活動等で楽しみながら学びや成長を促す機会を提供することで、兄弟児の自己肯定感を高める取り組みを進めます。</p>